



平成28年2月8日

各位

会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大嶋 章 禎
(コード番号：6835 東証第2部)
問合せ先 IR部長 徳光 盛次
(TEL：03-5437-6007)
(URL <http://www.at-global.com/>)

平成27年12月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成27年2月13日に公表しました平成27年12月期通期（平成27年1月1日～平成27年12月31日）の業績予想を修正することといたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。また、特別損失を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期 連結業績予想値の修正

通期（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	33,600	△540	△700	△1,600	△14円70銭
今回修正予想(B)	28,360	△2,530	△2,680	△2,690	△24円67銭
増減額(B-A)	△5,240	△1,990	△1,980	△1,090	
増減率(%)	△15.6%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年12月期)	30,217	△1,843	△367	△3,954	△36円33銭

※今回修正予想の1株当たりの当期純利益の数値は、平成27年12月期における期中平均株式数（109,057,850株）を用いて算出しております。

（修正の理由）

当社グループは業績の持続的改善策の一環として、業務オペレーションの効率化を図り、かつ細やかな市場の需要変動に対応するため、市中の在庫回転率の向上等に取り組んでおります。このため、特に日本において当初見込んでいた期末にかけての販売代理店への出荷量を翌期（平成28年12月期）に向けて平準化させたことから、第4四半期（10月～12月）の国内の売上高は期初計画に未達となりました。また、堅調な需要を見込んでいた欧州やアジア・オセアニアにおいて、原油安等の影響によりルーブル安となったロシアで売上が大きく減少したほか、米国政策金利の引き上げ懸念や中国経済の減速等の影響から設備投資意欲に陰りがみられ、特にタイ、ニュージーランド、マレーシア、韓国等において目標数値に未達となりました。これらの理由により、当連結会計年度の売上高につきましては予想を大きく下回る見込みであります。



損益面につきましては、売上減による売上総利益の減少分を人件費削減等により全体的なコスト圧縮に努めたものの、その効果は限定的なものにとどまり、営業損失、経常損失、当期純損失につきましても、従来予想を下回る見込みであります。

2. 特別損失の計上

当社は経営合理化の実現に向けて事業再編の規模を拡げ、当初予定していた欧米だけでなくアジアにおいてもグループ内再編による経営の効率化を図っております。このため、当連結会計年度の事業再編損として約5億円を計上するほか、無形固定資産の減損損失として約1億円、合計約6億円を特別損失として計上する予定であります。

なお、平成27年8月24日及び12月17日に開示したとおり、株式売却益等により特別利益として当事業年度で約9億円を計上する予定であります。

以 上

(注意事項)

上記の予想数値は、本資料の発表時現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。